

島田市プレミアム金券事業の実施報告について

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起型）を活用し、消費拡大による地域経済の活性化を図るため、プレミアム金券（以下、「金券」という。）事業を実施した。

1 概要

発行総数	47,400冊
販売額	10,000円（1,000円券×12枚）／冊
発行総額	568,800,000円（20%プレミアム分含む）
購入対象者	島田市内に住んでいる人
1人当たりの購入限度数	1人3冊まで（同居の家族2人分まで購入可 最大9冊）
金券が使えるところ	市内の加盟取扱店 826店舗（平成27年11月30日現在）
金券の使用期限	平成27年11月30日（月）

2 広報・PR

市民への周知について、以下の媒体により広報、PRを行った。

広報しまだ（4、5月号）、市ホームページ、行政情報、広報モニター、静岡新聞、中日新聞、島田市商工会広報誌「はばたき」、FMしまだ、商店街連合会折込みちらし、地域情報誌ココガネ

3 販売状況

販売方法は市内3箇所（島田・金谷・川根）の販売所での直接販売とした。一般販売に先立ち、障害者手帳（身障・療育・精神）の交付を受けている人及び介護保険の要介護（要支援）の認定を受けている人を対象とし、先行販売を実施した。

先行販売	販売期間	6月13日（土）～6月17日（水）
	販売冊数	1,610冊
	売り上げ	16,100,000円
一般販売	販売期間	6月20日（土）～6月24日（水）
		※6月26日（金）までの販売を予定していたが、想定よりも早い24日に完売。
	販売冊数	45,790冊
	売り上げ	457,900,000円
	<u>合計</u>	<u>474,000,000円</u>

4 換金状況

加盟登録店への換金については、当初、月末締め翌月末払いとしていたが、加盟登録店からの要望により、月2回締め2回払いに変更した。

金券販売開始日から換金受付を実施し、換金金額は8月末までに3億4,700万円（換金率61%）、10月末には5億1,100万円（換金率約90%）となり、最終的な換金金額は5億6,692万6,000円（換金率99.67%）であった。

なお、未換金金額は1,874,000円であった。

5 使用状況

金券の使用状況について、加盟取扱店826店舗のうち、金券が使われた店舗は515店舗、使用されなかった店舗は311店舗であった。業態別に見てみると使用された金券の約79%にあたる4億4,700万円がスーパー、ドラッグストア、ホームセンター等のチェーン店※で使用されている結果となった。

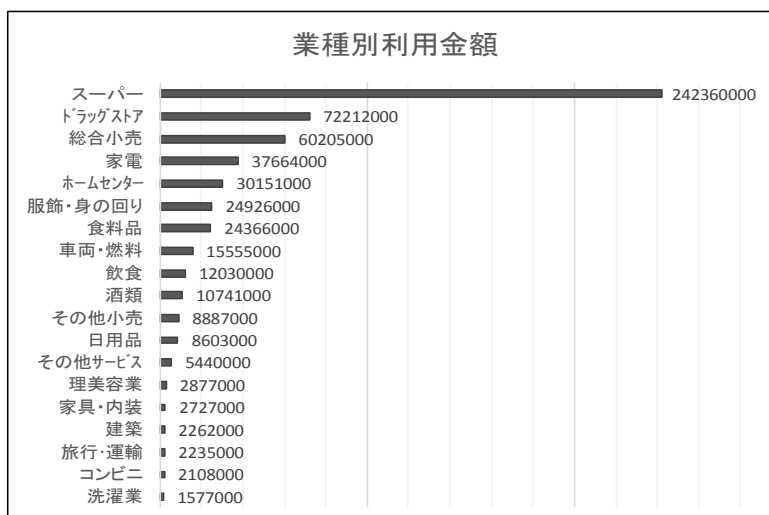
残りの約21%にあたる約1億1,980万円が小規模店、個人店で使用されている。

※チェーン店・・・多店舗展開しているスーパー、ドラッグストア、ホームセンター、コンビニ、家電量販店等

次に業種別に見てみると、使用された金券の約43%にあたる2億4,200万円がスーパーで利用されており、他の業種と比べて突出した結果となった。次いでドラッグストアが12.7%、総合小売業が10.6%となっている。

この結果から、食料品や生活必需品の購入が多かったことが推察できる。

なお、各業種の利用金額はグラフのとおり。



総 括

1 消費喚起効果

今回のプレミアム金券事業の消費喚起効果について、購入者アンケートを基に国の示す推計方法（次ページ参照）を用いて算出すると、約2億1,700万円の消費喚起効果があったと推計できる。

また、国の交付金によるプレミアム分（20%分）が9,480万円であるため、約2.2倍のレバレッジ効果*があったと考えられる。

加盟取扱店及び購入者アンケートを見ても、加盟取扱店の半数以上が売上げが伸びていないと回答していることや消費者の金券使用目的の約72%が日常の買い物に使用しているなど、大きな消費喚起効果にはつながっていないものの、小規模店、個人店でも約1億2,000万円の金券が広く使用されており、それぞれの地域で一定の効果があったものと推測される。

※レバレッジ効果…「てこの原理」になぞらえ、少ない投資で何倍もの収益を生み出すこと。

消費喚起効果推計額算出表

金券総販売冊数(A)	47,400冊	
金券発行総額(B)	568,800,000円	(A) × 12,000円
金券利用総額(換金総額)(C)	566,926,000円	
換金率	99.7%	
アンケート回答数(D)	303人	

アンケート結果

金券の使用目的	金券での支払い	金券での支払いにあわせ追加支出した現金等
a. 普段の買い物を商品券で支払った	① 17,791,000円	
b. 金券の入手がきっかけとなった商品・サービスの購入	② 6,881,000円	④ 2,582,211円
合計	③(①+②) 24,672,000円	

	アンケートの回答割合	
a: 日常の消費額	72.1%	⑤ = ① ÷ ③
b: 金券事業で喚起された消費の内金券による支出分	27.9%	⑥ = ② ÷ ③
c: 金券事業で喚起された消費のうち現金による追加支出分	10.5%	⑦ = ④ ÷ ③

上記構成比を利用総額に乗じる

a: 日常の消費額	408,753,646円	⑧ = (C) × ⑤
b: 金券事業で喚起された消費の内金券による支出分	158,172,354円	⑨ = (C) × ⑥
c: 金券事業で喚起された消費のうち現金による追加支出分	59,527,230円	⑩ = (C) × ⑦

事業全体の効果額 217,699,584円 ⑪ = ⑨ + ⑩

使用された金券1枚あたりの効果額 384円 ⑪ ÷ 566,926枚